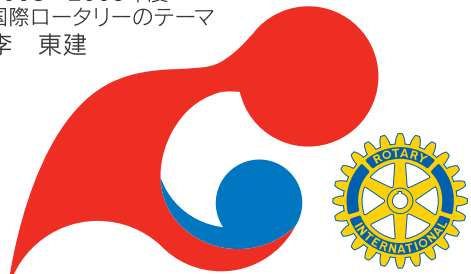


2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ
李 東建



Make Dreams Real
夢をかたちに

会長／齋藤清蔵 幹事／遠藤光一

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2008▶2009 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

出席と参加、親睦と奉仕の 意識を高め地域に奉仕

プログラム

- 本日
「米山月間にちなんで」
国際奉仕委員会
ご夫人誕生日
10月22日 平間 公子
- 次週予定
2008-2009年度地区大会
(ロイトン札幌)
結婚記念日
10月22日 行徳 幸治
10月23日 鈴木 康伸

No. 2347

第15回 10月22日

出席報告

前例会

会員総数	45名
出免会員	5名
出免出席	0名
出席会員	31名
出席率	77.50%

前々会

第12回 9月24日

出席会員	35名
メイクアップ	3名
修正出席率	83.33%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

- 次週10月25日・26日に2008～2009年度国際ロータリー第2510地区年次大会が開催されます。25日は会長幹事会がロイトン札幌にて午後1時より開催されます。また、26日には皆様が出席する本会議が午前8時30分受付、9時点鐘にて開催されます。場所は同じくロイトン札幌です。なお記念懇親会は午後5時30分より、場所を厚生年金会館に移して開催されます。
- ロータリー囲碁同好会のご案内が届いております。2008年11月29日(土)会場を日本碁院会館(東京)にて開催されます。
- 経済産業省よりベンチャー企業育成に関するご協力のお願いが届いております。回覧いたします。

📁 幹事報告

- 1) ロータリーの友10月号が届いております。本日配付いたします。
- 2) 深川RCより10月例会のお知らせを受領しました。
- 3) 臨時理事会にて留萌市温水プールぶるもの運営継続を求める要望書の署名お願いを受けましたので、テーブルに用紙を配布いたします。

会報受領先

・深川RC No2417号～No2420号

ゲスト

国際ロータリー第2510地区

地区職業奉仕委員長 綱木 保利様

(苫小牧東RC)

委員会報告

国際奉仕委員会 田中副委員長

10月は米山月間で11月が財団月間です。次週例会より親睦活動委員会の受付の横にて寄付を受付いたします。よろしくお祈りします。

例会運営委員会 森(俊)委員長

会長報告にもありましたが、10月26日札幌にて開催されます年次大会が段々近づいてきました。当日は9時点鐘ですので、6時には留萌を出発しなければなりません。バスは関野会員さんの(株)食産前を6時出発と致しましたので、バス利用者は遅れずにお越しください。

3分間情報

例会運営委員会 平井委員
「ロータリーと歌唱」

ロータリー創立後、3年間シカゴRCでは奉仕強調派と親睦派との間に激しい討論があり、クラブが崩壊寸前となったとき、5人目の会員であり印刷業のハリー・ラグラスが諸君歌を唄おうではないかと提案したのが始まりと言われている。

ハリーは歌う事が大好きであった。これは20世紀の初めを風刺した風潮であった。この巣立ったばかりのグループのある例会で、ハリーは椅子の上に飛び上がり、皆に彼と一緒に歌うよう呼びかけた。まもなく、ロータリーの例会で歌う事が習慣となった。この習慣はアメリカの多くのクラブに普及し、今日ではオーストラリア、日本、カナダなど、様々な国のロータリー例会のホピュラーな親睦行事となっている。例会の初めに国歌を歌うクラブもある。しかし、ヨーロッパ、南米、アジアのロータリークラブの例会でロータリーソングが歌われることは殆どない。

RIの聖歌・祝歌としてエグモント序曲の一部を公式なRI行事で使用することがあるが、RI公式ソングとして特定の楽曲が指定されていない。日本での代表的なロータリーソングは4

曲。「我らの生業」「奉仕の理想」は、リズムが多少スローテンポで、厳粛さがにじみ出ている。「手に手つないで」「それでこそロータリー」は、リズムカルで歌いやすい。これが場面によって使い分けられている。

1977年5月、私も参加した第69回東京国際大会で藤山一郎ソングリーダーのもと、95カ国から参集した外国人と共に合唱したソングは、英語版による「R-O-T-A-R-Y」であった。場内に響き渡る歌声は、やや波調の違いもあったが一体感を作り上げた。2002年7月、日本のロータリーソング委員会が改めて発行した歌集には、37曲(内5曲が英語版)が掲載されているが、これらにこだわることはない。1984年クラブ会長であった私は、SAAさんをお願いして毎月1回の例会だけは、全員で季節に合った日本の唱歌を歌って頂いた。

ロータリークラブでの唱歌は、独唱家のためのものでなく、音楽的才能のある人だけのものでもない。これは皆のためのものであり、良い声、普通の声、得体の知れない声、私の歌には節がないとあきらめてる人のためのものである。重要なことは、歌うという事が毎週毎週のプログラムに含まれて、皆が参加することである。そして各クラブにある協力の気持ちを強め良い友好の親密な空気を作ることである。

ニコニコBOX

- ・日増しに寒くなってきました 会員の皆様カゼをひかないよう頑張ってください 巨人リーグ優勝しました 齋藤会長
- ・お世話になります 綱木地区社会奉仕委員長
- ・銀婚式の多額BOXで金欠となりましたので 今回のゴルフ大会優勝だけとし、取り切り戦優勝は控えさせていただきます 森(俊)会員
- ・ゴルフ取り切り戦準優勝 大嶋会員
- ・ゴルフ1位 鈴木会員
- ・良いことがありました 関野会員
- ・DVDいただきました

西谷(英)、森(幹)会員

前 回 374,000円
今 回 29,500円
累 計 403,500円

📖 プログラム・・・・・・・・

「職業奉仕月間にちなんで」

国際ロータリー第2510地区

職業奉仕委員長 綱木 保利 様

～鈴木正三の職業奉仕倫理観と

ロータリーの職業奉仕～

鈴木正三(しょうさん)の職業観というものがあります。あまり聞き慣れない名前かもしれませんが。本来の職業奉仕とは違いますが、ロータリーの職業奉仕をより理解する上で参考になりますので今日はこれを紹介したいと思います。

今から350年前の徳川初期、正三は勤労と禁欲、商取引における利潤など、職業倫理を日本で初めて説き、日本の近代資本主義精神の形成に大きな影響を与えたことで知られています。正三(1579-1655)は通称「しょうぞう」と称していました。本名は「まさみつ」。三河の国(現愛知県)加茂郡足助の庄則定村の生まれで、父は重次といい先祖代々松平家(後の徳川家)に仕えてきました。母は今川家の家臣(粟生筑前の守の娘)。武家の長男ですが、自らは「高橋70騎」の中のある家を継ぎ、鈴木家は弟が継ぎます。彼は仁王禪の提唱者としても知られています。宮元武蔵と同時代人。武蔵は剣の道の完成に生涯を捧げましたが、正三は後に剣を捨てて出家し禅僧としてその道を極めます。

17歳の時、「宝物集」～お釈迦様の前身である雪山童子(せっせんどうじ)の話～を読んで感激し、真理を究めようとしします。また、27歳の時20歳の妻を亡くし、次第に宗教に関心が高まっています。幼い頃は臆病な性格だったとも言われていますが、厳しい修行で自ら勇猛な武士に鍛え上げます。関が原の合戦やその後も大阪冬、翌年37歳で夏の陣に出陣し、34歳で再婚しますが、42歳の時、突然出家します。出家後は「しょうざん」と改名し、諸方を行脚し、千鳥山や山中村石の平に庵を結び「燠る生薪」などの



荒行の頃はついに発病し、命を落としかけますが、弟の医者に食養生で生き返ると言われ、肉食を実行。肉食はおろか命が助かるならば死人の肉でも喰らうと言って、肉食を実行します。彼の生き様は、生きてこそ修行。修行が成就しないと大勢の人間を幸せに出来ないと考えたのです。正三はそれを自ら「恥知らずの正三」と言っています。2年で体調が回復し再び肉食をやめます。その後も活動を行う傍ら、「驢鞍橋」「万民徳用」「盲安杖」などを書き記します。61歳で大悟し、そして1955年6月25日、実弟旗本鈴木重之邸で77歳の生涯を閉じました。

正三の職業倫理観は「職業即(イコール)仏業」で宇宙を主宰するのは仏。万物には仏性が宿っている。その人間が世俗で生きていくに当たっては、何も仏法の悟りを開かなくても、各人が自分の置かれた環境の中で、一瞬一瞬を大事にして、天から預かった自らの職分(天職)にひたすら励むことで、救済されるはずである、と説きました。晩年になって職業倫理について「四民日用」という書物を書き記します。四民とは武士、農民、職人、商人のこと。日用とはいつも使えるものという意味。最晩年には了心庵にて、この「四民日用」に「修行之念願」「三宝の徳用」とを加えて一本にし、「万民徳用」として刊行します。徳用とは役に立つ事を意味します。

この万民徳用には4つの特徴があります。

- ① 仕事に打ち込んで、しかも仕事に囚われない境地の説明
- ② 思想が世俗社会に深く結びつく構造を持つ事
- ③ 職業倫理(心構え)としての勤勉と禁欲と余暇の構造を説明

④日本で最も早く職業利潤の倫理化、正当化について書き記したという特徴を持っています。

ただし、正三の教えは彼の独善によるものではなく日本には過去から連綿と続いてきた大乘仏教以来の思想があり、日本独自の精神的伝統を言語化し、体系化に成功したのが鈴木正三であり、彼は仏教(禅)の視点から職業人としての根本精神、即ち禁欲的な経済倫理とそれを支える職業倫理(召命思想)、あらゆる職業はすべて神の救いの道である、と説いています。この自らの仕事に、ある種の人間形成の道や職業を通して世の中に貢献していると考える勤労観は、その後の石田梅岩や二ノ宮尊徳、近江商人らに少なからず影響を与えています。又、この正三の職業観はいみじくもヨーロッパにおけるマックス・ウェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」とも一致しているとして、中村元博士のほか大野信三、山本七平らによって広く内外に知られるようになりました。

最近はこの職業倫理、勤労倫理を喪失または見失ってしまった感がありますが、日本人の伝統文化に根ざした普遍的な職業倫理観が不可欠であります。正三の教えは、人間の基本的な生き方が説かれており、職業を通じて自己を磨き、職業を通じて世の中の役に立つという日本人の職業観の原点がここにるように思われます。しかも当時の民衆の中にも同じ職業観が生まれてきました。またイギリスにおけるピューリタン革命の指導者だったバクスターが生まれたのは正三より40年ほど後であり、正三の説いた内容が如何に斬新なものであったかをうかがい知ることが出来ます。

このように、正三の職業即仏行思想は、職業は神の思召しという職業倫理に通じるものがあり、しかも、このような職業観がやがて300年後のシェルドンの説く職業奉仕理念と相通するのであります。ましてや、「一切の所作、皆以て世界の為となる事を以て知るべし」に至っては、これはもうロータリーの職業奉仕そのものです。日本のロータリアンが職業奉仕に惹きつけられるゆえんであろう。

しかし、ロータリーの職業奉仕はシェルドンの説く職業奉仕理念です。シェルドンの論文を読まずに職業奉仕を語ることは出来ません。重要な事は、シェルドンの職業奉仕を職業奉仕の原点として正しく認識する事を基本としつつ、時代の要請に即応したあり方を身に付けることで、結果として現在の会員の保持につながるだけでなく、会員の量的増加と質的強化が実現出来ると思われれます。ただ、不祥事の多い昨今、心の問題として正三の職業倫理観は日本の伝統ある精神として世界に誇れるものであり、その意味で、あえてテーマに取り上げてみました。

■参考資料■

石田梅岩(1685-1744)

石門心学の祖。商業を高く評価。正三思想につながる。農家の三男に生まれ、幼くして商家の丁稚奉公となる。勤勉は決して蓄財一辺倒ではない。能く蓄えを施すことが、商人道の目的。金銀は天下のお宝。多くの人を救い、最終目的は利他行にあった。このように神・仏・儒の三教ではなく、独自の思想を展開する。そして三仏悟る心は一つとしてすべての宗教を尊ぶことを教えている。また心学は町民による町民のための実践倫理「商人道」(利他行にあり)を説く。例1850年の大飢饉には京都の心学者のボランティアで行われた、35日間約1万両超の施行で京都ではほとんど餓死者が出なかった。

二宮尊徳(1787-1856)

成田山の断食所で21日間断食座禅という最も厳しい修行の後、不動尊・地藏尊から啓示を受け大悟する。彼の貢献は在家のまま、疲弊きつた農村に「土地を耕す前に心を耕せ、心田を耕せ」と説き、乱れた心を立ち直らせた。彼は「勤労」・「分度・分限」・「推譲」を唱え、限りない財の奪い合いの競争の果てに、荒んだ心から共存共栄、人間らしく生き、人間らしい豊かな幸せを求めて、無用な競争を避け、常に自分の分度・分限を守って自分の能力・体力・素質を見つめ、行き過ぎないように、天理に則って譲歩しつつ、自分の人生を全うする生き方を説いた。もうひとつ、「如是」を基本として「同発菩提心」(共に一緒になって働く)、つまり、お陰(陰の恩恵)を知り、天の恵みの尊さを学ぶこと。報徳神の精神の大切さを教えてくれています。

近江商人の話 「天秤の詩」～少年の涙の向こうに商いの真髄を見た～(V D)

これは近江商人の子供の頃の躰の回想の話です。近江商人といえは三方善し。即ち製品を作る人、売る人、買う人全てが満足しうるを商売の基本とする考えです。近江商人は、浄土真宗の信仰で心を磨き、仏教の教えを自ら商いで実践するために、子供の時から日本各地を行商させて商人としての道を厳しく躰けたといひます。